

Archer® Business Resiliency

はじめに

組織は、製品とサービス、プロセス、テクノロジー、サードパーティー、従業員などが複雑に絡み合っていてできているものとなりつつあります。各要素により、複雑さのレベルがさらに上がり、これにより、ビジネスプロセス、極めて重要なIT インフラストラクチャ、増え続けるサードパーティー関係の脆弱性と複雑さが拡大します。これに加えて、ビジネスは絶えず進化しています。新しい関係が作成され、新しいサービスが提供されるため、ビジネスおよびIT インフラストラクチャのサポートが必要になります。この変化するエコシステムは、大規模な自然災害、評判の危機、サイバー攻撃のどれであるかにかかわらず、障害に直面した際に耐久性を維持する能力に影響を及ぼします。さらに、複雑さによって、リスクがどこにあるのか、どこに出現しているのか、そして、どれほどの速度でリスクが組織の耐久性に影響を与える可能性があるのかを明確に理解することが困難になっています。

重要なビジネス機能とそれを支えるインフラストラクチャは、中断に耐えるとともに、障害発生時に迅速なリカバリーやリストアが可能である設計であることが必要です。ビジネス継続性 (BC) およびIT ディザスター リカバリー (DR) 計画は、重要なビジネス機能が稼働し続ける、または危機的状況が発生した場合に、許容可能な時間内に稼働状態にまで回復できるようにするために、大きな役割を果たします。

しかし、これらすべての複雑なプロセス、システム、サプライヤーなどに対する無数の計画の管理は複雑です。ビジネス継続性管理 (BCM) チームは、通常、カスタマイズやアップグレードのコストが高い複数のツールと柔軟性の低いシステムでは、BC/DR 計画を静的に文書化しています。さらに、多くの場合、計画の作成、承認、保守、テストを行うプロセスは、まとまりがなく、その場しのぎです。BC、DR、危機の各チーム間の調整が不十分なため、IT またはビジネス上のリスクが新しく発見されるか、発生して、組織の標準的な運用の継続性または耐障害性に影響を及ぼす可能性があるとしても、多くの場合、ほとんど認識されません。その結果、継続性およびリカバリー計画が導入され、意図したとおりに動作することを経営幹部に証明し、報告することは困難になります。

耐久性の考え方へのリカバリーの変換

リカバリーとは、障害が発生した後に必要なサービスをリストアするための事後対応的な計画を企業が作成していることを意味します。逆に言うと、耐久性プログラムは、組織の継続性に対する「システミック リスク」を解決するように設計されています。耐久性を備えるには、不利な状況に必然的に適応し、中間軌道修正を実行し、中断の悪影響を回避するプロセスを構築する必要があります。

ビジネスの耐久性プログラムが成功すると、ビジネスの影響分析、ビジネス継続性計画、ITディザスターリカバリー計画、危機管理計画、インシデント対応活動が、ビジネス全体の目標と戦略に合わせて調整されます。

これまで以上に組織は、ビジネス継続性チームとディザスターリカバリーチームの連携を強化して、より耐久性に優れた組織を構築し、組織の評判、財政、法的地位、従業員、顧客に対する中断の影響を最小限に抑える必要があります。経営幹部には、継続性のリスクに対する深い理解、必要な予算についてのインサイト、危機発生時の計画が用意されているというある程度の自信が必要です。

Archer Business Resiliency のメリット

Archer® Business Resiliency は、その自動化アプローチにより、危機的状況での迅速な対応を可能にして、お客様の継続的な運用を保護します。RSA Archerを使用すると、継続性チームとリカバリーチームの効率を変革し、ビジネスの最も重要な分野に迅速に対応し、ビジネス全体にわたる連携により組織の耐久性の目標を達成することができます。

継続性とリカバリーの計画へのビジネス コンテキストの取り込み

どうすれば、ビジネスにとって何が最も重要かが分かるでしょうか。耐久性を確保するために最も重要なビジネス プロセスはどれでしょうか。アップストリームとダウンストリームの依存関係、システム、プロセスには何があるか、そして、チームはどのようにそれらを計画していますか。これらの重要な質問に答えるには、ビジネス上の重要度とそれに対応するリカバリーの優先事項を理解しておく必要があります。Archer は、ビジネスを支えるIT インフラストラクチャと結びついた、元化ビジネス プロセスおよび資産リポジトリーを提供します。これにより、経営陣が、組織のカタログ化して理解し、各プロセスとそれを支持するテクノロジーおよびインフラストラクチャの重要度を評価し、重要度に基づいてBC/DR 計画作成プロセスに優先順位を付け、その後リカバリー計画を導入することができます。

インシデントと危機への対応の統合

日常的なインシデントや、「英雄的な奮闘」によって救われる危機イベントによる混乱は、チームが望むタイプの経験ではないだけでなく、再現してほしくない経験です。インシデント チームと危機チームは、発生するインシデントの管理を適切に計画し、プロアクティブに対応ステップを組織のプロセスに組み込んで、危機イベントを迅速かつ効果的に解決する必要があります。日々のインシデントの管理、および危機イベントに備える計画とテストにおいて、耐久性プログラムを統合して、プログラムに、学習と改善のプロセスのサイクルが含まれるようにする必要があります。Archer を使用すると、これをより効果的に行って、組織内の変更、新規の規制または規制の変更、新しいビジネスに沿ってプログラムの耐久性を維持し、耐久性が組み込まれたプロセスを実行することができます。

ス耐久性プログラムの適応

ビジネスは流動的であり、変化しやすいため、優先事項を定期的に評価する必要があります。BCM の計画と実行も、同じパターンに従うべきです。ISO 22301 標準では、ビジネスの優先事項と戦略的目標に沿って、優先事項の変化に適応

今後5年間に、80%の企業は、その株価を20～30%低下させるような危機に直面します。

Oxford Metrica
Reputation Review 2012

耐久性に優れた企業は、不測の事態が発生した場合でも、ブランドに対する期待を裏切ることなく、その影響を吸収できます。

The State of Business
Continuity
2015: People and
Communication
Forrester, Stephanie
Balaouras

し、対応するだけの柔軟性がある方法で、耐障害性に優れた組織を整備することを推奨しています。RSA Archer を使用すると、業界で最も構成可能なソフトウェアを基盤とする耐障害性プログラムを構築できます。継続性、リカバリー、対応の各プロセスのカスタマイズ、新しいワークフローの追加、新しいレポート作成のプログラム作成を行うと同時に、アプローチや分類法を維持することができます。Archer の柔軟なプラットフォームにより、現在の継続性およびリカバリーのユースケースを簡単に拡張できます。カスタム コードやプロフェッショナルサービスの必要はありません。Archer Business Resiliencyは、BC 計画作成の国際規格であるISO 22301 に沿った、標準ベースのアプローチを採用しています。

Archer Business Resiliency

Archer Business Resiliency により、自動化されたアプローチを使用して、ビジネス継続性とディザスター リカバリーを計画し、実行することができ、危機的状況に迅速に対応して、継続的な運用を保護できます。RSA Archer を使用すると、ビジネスプロセスとそれを支えるテクノロジーの重要性を評価し、計画のテストと承認のための自動化されたワークフローを使用して、ビジネス継続性とディザスター リカバリーの詳細な計画を作成することができます。主要なダッシュボードとレポートによって、経営幹部が状況を把握しやすくなり、継続性のリスクの理解や、予算要件に対するインサイトがもたらされ、危機発生時に備えた強固な耐久性プログラムが導入されているという一定の安心感が得られます。

Archer Business Resiliency には、お客様固有のビジネス ニーズや、ビジネスの耐久性の成熟を目指す行程の進行状況に対応したさまざまなユース ケースが用意されており、以下のオプションが含まれます。

ビジネス影響分析

あらゆる組織のビジネス プロセスの重要性を理解するには、ビジネス影響分析を開発する必要があります。RSA Archer Business Impact Analysis は、ビジネスプロセスの重要性を判断を助けるように設計されているため、それらに優先順位を付けて順序を決定することにより、リカバリー計画の作成と耐久性対策の構築が可能になります。キャンペーン機能を使用すると、ビジネス プロセス全体でビジネス影響分析 (BIA) の更新を推進できます。これにより、一連の製品とサービスのサポートや、特定のビジネス ユニットまたは他の組織との連携が実現します。ユース ケースでは、組み込みの承認、監視、通知、レポート機能により、ビジネス プロセスの担当者を介して更新を推進する、すぐに使えるワークフローが提供されます。組織全体で相互に依存している各チームと情報を共有することで、ビジネス継続性チーム、IT ディザスター リカバリーチーム、危機管理チームを調整できるため、同じ計画とリカバリー優先順位が全員に共有されます。

インシデント管理

Archer Incident Management には、サイバー攻撃、倫理違反、物理的インシデントなどのイベントのレポートを作成し、分類するためのケース管理およびインシデント対応ソリューションが用意されています。ビジネスへの影響や規制条件などの要因に基づいて、インシデントの重要度をすばやく評価し、適切な対応手順を決定し、対応チームのメンバーを割り当てることができます。RSA Archer Incident Management には、コスト、関連インシデント、損失、リカバリーの追跡およびレポート作成のためのダッシュボードも用意されています。

経営陣は、ビジネス継続性管理プログラムの責任を負い、毎年、必要な投資を責任をもって行う必要があります。重要業績評価指標 (KPI) と、可用性の重要リスク指標 (KRI) を結び付けることは、BCMリーダーが、ビジネスの耐障害性の価値を管理者に伝える効果的な方法です。

Use KPI and KRI Mapping to Make the Business Case for Business Resilience 2015 年9月 Gartner、Roberta J. Witty、L Akshay

Archer を使用して、DZ Bank は、ビジネス継続性計画の作成時間を3ヶ月から数分に短縮しました。また、数回クリックするだけで、時間的に厳しいプロセスを指定できるようになりました。

Global Head of Business Continuity and Crisis Management
DZ Bank

ビジネス継続性およびIT ディザスター リカバリーの計画作成

Archer Business Continuity & IT Disaster Recovery Planning は、ビジネス継続性とIT ディザスター リカバリーの計画作成と実行に対する、協調的で一貫性のある、自動化されたアプローチを提供します。危機的状況において迅速に対応して、継続的な運用を保護することができます。

耐久性の管理

Archer Resiliency Management は、協調的で一貫性のある、自動化されたアプローチを提供します。危機的状況での迅速な対応と大量の通信により、継続的な運用が保護されます。RSA Archer を使用すると、ビジネス継続性とディザスター リカバリーを管理できます。また、実行されている計画を組織の危機管理チームの活動に合わせて調整し、危機イベントを総合的に管理することができます。このソリューションでは、リスク アセスメントを他のGRC分野に適合させ、ビジネス継続性、IT ディザスター リカバリー、危機管理計画のテスト プロセスを自動化して、一貫性のある危機対応によりリスクを最小限に抑えます。

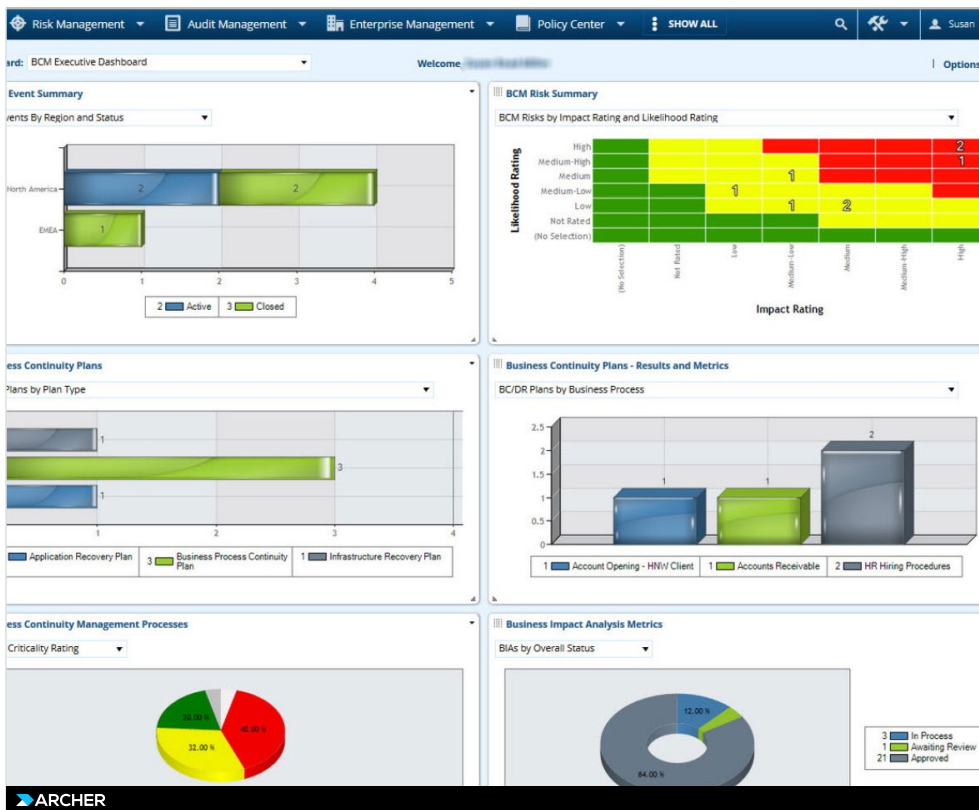
結論

ビジネスの耐久性に対する協調的なアプローチを行わない場合は、重要なビジネス プロセスやIT インフラストラクチャが、中断後にビジネスを持続させたり、迅速にリカバリーしたりできず、組織が大きな損失を被る可能性があります。Archer Business Resiliency は、事後対応型のビジネス継続性とリカバリー目標から、チームがビジネスの中断による影響を軽減できるようにするためのプロアクティブな態勢へと成熟するために役立つ耐久性志向アプローチを提供します。Archer を使用すると、耐久性チームの効率を変革して、重要なビジネス運営を保護することができます。

社は、BCM ソリューションに必要な機能のリストを特定し、それを1つ1つ、既存のソリューションとArcher に対して比較しました。Archer の方が、議論の余地なく優れていました。ベンダーの連絡先リストの追加、解説文書の提供、担当の計画と承認の割り当てなど、既存のプラットフォームが十分にサポートしていないか、まったくサポートしていなかった数多くの機能が用意されています。

このソリューションを実装して以来、ビジネスに数多くのメリットがもたらされました。3年間で約\$36,000 の事業運営費の削減が実現され、Equifax の企業リスク管理の目標との完全な相乗効果も得られました。データの相互交流が実現可能になったため、同じデータセットを複数の組織で活用できます。そして、BC/DR 成熟度レベルが大幅に向上したため、現在はそれを測定し、再現することができます。

Global Business Continuity
Manager – Equifax



Archerについて

Archerは、統合リスク管理 (IRM) ソリューションのリーディングプロバイダーであり、お客様の戦略的意思決定と業務回復力の向上を、ビジネスとITの両方の影響を主軸に行う定性・定量分析をサポートする近代技術プラットフォームにより可能にします。GRCソフトウェアの真のパイオニアとして、Archerは、従来の業務運営リスクからESGのような新しい問題に至るまで、お客様がリスクとコンプライアンスの領域を管理できるよう支援することに唯一専念しています。リスク管理業界で20年以上の実績を持つArcherの顧客基盤は、世界最大の純粋なリスク管理コミュニティの1つであり、Fortune 500企業の50%以上を含む1,200以上の顧客を有しています。

www.ArcherIRM.com